

大阪市で地震保険セミナーを開催 ～南海トラフ巨大地震への事前対策の重要性を学ぶ～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁 三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 関西地区担当）では、大阪損害保険代理業協会との共催により、12 月 2 日（火）に大阪市内で「地震保険セミナー」を開催し、保険代理店や損保会社社員等、261 名（会場 55 名、オンライン 206 名）が参加しました。

冒頭、東口委員長から、「南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、地震保険の重要性をあらためて認識し、更なる加入率向上に向けた力添えをお願いしたい。」との挨拶がありました。

最初の基調講演では、名古屋大学名誉教授 福和 伸夫先生から、過去の大きな災害からの学びや大阪で高層ビルが林立する地域の地理的特徴などの説明を交えながら、「南海トラフ巨大地震への備えとして、損保業界全体が地震保険の販売を通じて、住宅の耐震化や家具の転倒防止といった事前対策の重要性を訴えかけてほしい。」といった話がありました。

続いて、近畿財務局金融監督第四課 谷川 幸司課長から、地震保険の歴史や政府による再保険の説明等を交えながら、「代理店は地域に根差した存在であり、地域住民との信頼関係を生かして地震保険の普及啓発活動を推進してほしい。」との話がありました。

閉会にあたり、大阪損害保険代理業協会 新谷 香代子会長から、「お客様の万が一を思い、巨大地震への対策と地震保険の大切さを説明できるのは、リスクの専門家である損害保険募集人である。『あの人にお勧めしておけばよかった』と後悔することは絶対にならないようにしたい。」との挨拶がありました。

当支部では、今回のようなセミナーの開催等を通じて、地震のあとの暮らしを守る地震保険のより一層の普及を図ってまいります。

【開催概要】

＜開催日時＞2025 年 12 月 2 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分

＜開催場所＞梅田センタービル 16 階 H 会議室（YouTube で同時生配信）

＜主 催＞一般社団法人日本損害保険協会近畿支部、一般社団法人大阪損害保険代理業協会

＜後 援＞財務省近畿財務局、大阪府

＜プログラム＞

- ・開会挨拶：一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部委員長 東口 嘉仁
- ・講 演 ①：名古屋大学名誉教授 福和 伸夫氏
「南海トラフ巨大地震の近畿圏内における被害想定と備えの重要性について」
- ・講 演 ②：財務省近畿財務局金融監督第四課長 谷川 幸司氏
「地震保険の普及に向けた損害保険代理店への期待」
- ・情報提供：一般社団法人日本損害保険協会近畿支部 主査 大東 建司
「地震保険について」
- ・閉会挨拶：一般社団法人大阪損害保険代理業協会会長 新谷 香代子氏



会場の様子



講演する福和先生



東口委員長



講演する谷川氏



新谷会長